

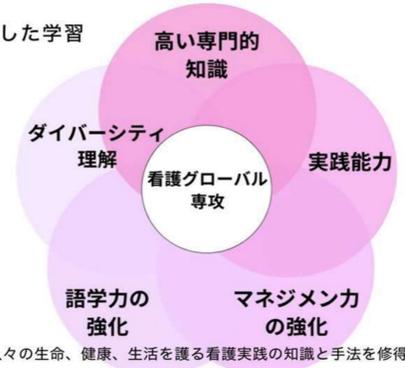
# グローバルスタディⅢ(インドネシア:ジョグジャカルタ) 外国人を看護するための、異文化理解向上を目指す看護専門人材育成

保健医療学部 看護学科 看護グローバル専攻

4年：井出優梨 櫻井百花 大門摩紀 高橋夏梨 西脇羽花奈 平井ほほ 山口桃乃

【目的】保健医療制度と看護実践についてインドネシアと日本の現状を比較し、現地視察並びに協定校であるガジャマダ大学(UGM)の看護学生および教員との討議を通じて、異文化の実際を理解し、文化的背景の異なる外国人患者や住民を看護する際に必要な看護専門職の知見について理解を深める。

専攻の充実した学習



関西国際大学



## 【保健医療】



## 【宗教・文化】

\* 異文化看護  
グローバルヘルスの学習

\* UGM 大学とのオンライン講義

## 【防災】



\* 学内での予習



\* 人と防災未来センターで学習

## 事前学習



\* 神戸ムスリムモスク訪問

### ★センタープログラム詳細★

医療英語・渡航英語/英語でのプレゼンテーション

グローバルスタディ参加時や個人的に海外に渡航したときなど、急な病気になった際に実際に役に立つ医療英語を学ぶ。また在日外国人の受療を授けたい方にも有用。/英語でプレゼンテーションを行う際のコツを身につける。

\* 医療英語・渡航英語練習



\* JICAで学習



## 【SDGs】

## 【言語】



\* 英語でのプレゼンテーション準備

【成果】UGMの方々と円滑にコミュニケーションをとれるように、センターオフィスプログラムやプレゼンテーションを通して英語を学んだことで、積極的に交流を図ることに繋がった。事前に宗教や保健医療制度、文化を含めたインドネシアについて調べたり、人と防災未来センターで日本の防災や減災への取り組み、住民への啓蒙活動の実際を学習することで日本とインドネシアについて深く理解することができた。

2/27～3/12まで、ガジャマダ大学の協力にて  
約2週間の現地活動を行いました。

## 【保健医療】

\*保健ポスト  
プスキスマス  
で実習

\*保健ポスト  
ポシアンドゥ  
で実習



## 【宗教・文化】

\*UGMでの災害看護の授業 **【防災】**

\*ベリンハルジョ市場



\*大学内のモスク



\*防災センター  
での体験学習

## 現地 活動



\*ラーマヤナ



\*「日本」について英語  
でプレゼンテーション



\*文化交流  
(折り紙)

\*文化交流  
(書道)



\*現地活動サマリーを英語  
でプレゼンテーション

## 【言語】



\*私たちとUGMの学生・先生の皆さん

## 【交流】

【成果】現地では、英語・インドネシア語・日本語で、時に翻訳アプリを駆使しながら積極的に交流を図ってコミュニケーション力が向上した。初日と最終日に英語でプレゼンテーションをし自信にもつながった。

インドネシアには保健ポストなど特有の施設がありそれぞれの施設が機能を役割分担しつつ密な連携を図ることで、すべての住民が保健医療にアクセスしやすい体制が取られていた。病院見学では、日本とは異なる看護実践や家族の看護への関りを知ることができた。

インドネシアの方々との交流や市場、モスクの見学を通し、現地の人々の日々の生活や価値観を知り、また生活の中に宗教の戒律取り入れられながらも個人レベルで差があることがわかった。

今後、国内外で文化的背景の異なる外国人患者や住民を看護する際、対象の文化的価値観や宗教的背景、母国での保健医療の体験を考え、その人その人に応じた異文化看護が提供できるように、グローバルスタディでの学習経験を活かす。

